

製品ロードマップ チート シート

 smartsheet 無料お試し

このチート シートをチェックリストとして使用して、製品ロードマップに必要な要素がすべて含まれていることを確認しましょう。

ロードマップを公開する前に、次の要素が含まれていることを必ず確認してください。

	目標: 製品の主な目標は何ですか。
	製品ビジョン: どのようなビジョンが設定されていますか。または、その製品を発売する理由は何ですか。
	戦略: どのようにその目標を達成し、製品ビジョンを実現しますか。
	タスク: 達成する必要がある主なタスクは何ですか。依存関係に注意しながらタスクの優先順位と進行状況の概要を示しましょう。
	エピック: アジャイル手法では、タスクをさらに大きなエピック(小さな作業の集まり)にまとめてロードマップに表示することができます。これにより、スプリントのプランニングとリソースの割り当てが容易になります。
	機能: 作成または改善を予定している主な機能は何ですか。
	リリース: 上記の各機能はいつ、どのような順序でリリースする予定ですか。
	タイムライン: 所要期間はどれくらいですか。前述のとおり、製品ロードマップではタスクのスケジュールを細かく厳密に書く必要はありません。詳細を書くのではなく、作業完了までのおおよその時間を示します。

次の要素は必須ではありませんが、プロジェクトや、ロードマップのターゲットオーディエンスに応じて必要であれば記載することができます。

	<p>クリティカル パス: クリティカル パスとは、製品を完成させるのに必要な最短時間です。この一連のタスクを(おおよそのタイミングとともに)強調して経営陣に示すこともできます。</p>
	<p>依存関係: 他のタスクを開始するためにどの項目を最初に完了する必要があるかなど、重要なタスク同士の関係性を示すこともできます。</p>
	<p>凡例/キー: 記号、色分け、その他の視覚的なヒントの意味を閲覧者が理解できるように、ロードマップに凡例またはキーを追加することを検討しましょう。</p>
	<p>メトリック: 製品ロードマップを利用して、製品の成否を判定するために追跡する主要な指標や主要業績評価指標(KPI)を強調することもできます。</p>
	<p>マイルストーン: チームが特定の日付までに達成しなければならない重要なマイルストーンやマーカーや、将来の製品の健全性を予測する上で重要なマイルストーンやマーカーに言及することもできます。</p>
	<p>完了率: ロードマップのアクションにすでに進行中のものがある場合は、進行状況を示す「完了率」ラベルを追加することを検討しましょう。</p>
	<p>スイムレーン: 機能指向の製品ロードマップでは、多くの場合、明確で視覚的にわかりやすい方法で作業アイテムを分類できるスイムレーンが使用されます。</p>
	<p>タスク ステータス: 同じように、各タスクのステータス(未開始、進行中、完了)を明確に示すフィールドを追加することもできます。</p>
	<p>テーマ: スコープが大きい場合は、製品ロードマップでテーマを使用することもよくあります。このようなテーマはコンテナとも呼ばれます。このステップにより、機能とリリースをテーマ別にまとめることができます。</p>

逆に、以下の内容は含めてはいけません。

- **具体的な日程:** オーディエンスから特に要求されない限り、製品ロードマップに具体的な日付を記載する必要はありません。イベントのおおよそのスケジュールを示す手段であって、チームのスケジュールを確定するためのものではありません。
- **記載する価値のない項目:** 未確定の付加的な情報やスコープ外のタスクを示す必要はありません。ロードマップは明確、直接的、簡潔にまとめましょう。また、製品に関連する今後の作業の中で、最も重要な側面のみを伝える必要があります。たとえば、バグの修正やテストの失敗など、何かに付随して発生する可能性のあるアクションには言及しません。予期しない出来事があっても対応できるようある程度の柔軟性は持たせておくために、具体的な日付は記載しないのです。

免責条項

Smartsheet がこの Web サイトに掲載している記事、テンプレート、または情報などは、あくまで参考としてご利用ください。Smartsheet は、情報の最新性および正確性の確保に努めますが、本 Web サイトまたは本 Web サイトに含まれる情報、記事、テンプレート、あるいは関連グラフィックに関する完全性、正確性、信頼性、適合性、または利用可能性について、明示または默示のいかなる表明または保証も行いません。かかる情報に依拠して生じたいかなる結果についても Smartsheet は一切責任を負いませんので、各自の責任と判断のもとにご利用ください。